

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：京丹後市

プロジェクト名	しごと・ひと創生プロジェクト	実施期間	平成27～29年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の人口は減少し続けており、人口減少は、本市経済に、消費市場の規模縮小だけではなく、人材不足、景気低迷を生み出しており、事業の縮小を迫られるような状況も生じている。 ・基幹産業である織物業が長期低迷の状況にあり、機械金属業も輸出関連産業を中心に厳しい状況が続いている。 ・農業においても、農業者の高齢化や後継者不足により、耕作放棄地も拡大し、また、農産物価格の低迷が続く中、農家数、出荷額ともに減少している。 ・地方創生を効果的・効率的に推進していくためには、地域の産業・雇用・企業等の技術開発やイノベーション創出等の施策を一体的に立案・推進する必要がある。 ・付加価値が高く市場競争力のある加工品の開発や農作物のブランド化が求められている。 						
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな産業・事業所の創出を図り、雇用・就業機会の開発と就業を促進し、就労人数を増加させる。 ・農業においては、多様な担い手の確保・育成を図りながら農地の集積を進め、生産性の向上を図るとともに、流通対策の強化や6次産業化による付加価値の高い農産物・加工品を創出（京都府北部連携都市圏での農商ビジネスフェア・商談会）し、所得の向上を図る。 ・京都府北部連携都市圏を活かし、U・Iターン就職促進策、定住支援策に取り組み（仕事マッチングと一体で取り組む移住定住）、人口流出の抑制・歯止めを図る。 						
	総事業費（千円）	1,278,299	本年度事業費（千円）	78,654	交付金額（千円）	27,208	

プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績(出来高数値等)

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
市町村 実施事業	職業訓練実施事業補助金	交付対象事業	職業訓練の機会を提供する団体の事業実施支援・伝統産業の人材育成を支援	職業訓練法人丹後地域職業訓練協会が実施する労働者や求職者の職業能力向上を目的とした職業訓練講座に要する経費を支援した（12講座・受講者延べ276人）
	農村6次産業推進事業	交付対象事業	農林水産業と商工観光業の連携や6次産業化を支援	6次産業に意欲のある農家等を支援し、研究・開発支援及び施設整備を実施（3件）
	企業立地促進事業	交付対象事業	企業立地、事業立地を促進	企業立地ガイド作成（3,000部） 企業訪問、企業誘致関連展示商談会への出展等（20か所）
	企業立地支援事業	交付対象事業	市内での事業所の新設・増設を行う企業を支援	事業所の新増設等を行い、かつ正規雇用者2人以上増加させた事業所に対して企業立地助成金等を交付（15件）
	起業アイデアコンペ開催事業	交付対象事業	大学生の英知を融合させたアイデアを募集し、新産業を創出	大学生発案の起業アイデアを募集し、コンペティションを実施（2件が事業化に向けて検討）
	京丹後型ワークスタイル創出事業	交付対象事業	テレワークセンター及びサテライトオフィスの運営を支援・テレワークにより業務を行う企業を誘致	テレワークにより本市にて業務を行う企業を支援した（訪問アプローチ企業数延べ56社）
	国内外販路開拓促進事業費補助金	交付対象事業	農林水産物の販路拡大を支援	新たな流通を生み出す取組を支援した（11件）
	就職促進・人材確保対策事業	関連事業	U・Iターン希望者の人材を確保し、地元事業所への就職促進・地域雇用を活性化	企業ガイドブックの作成や就職面接会や企業説明会を開催（参加者数144人）。
	新シルク産業創造事業	関連事業	新シルクを研究開発し、製品開発等を支援	大学と連携して高機能性シルクの研究開発として、無菌周年養蚕を開始した。
	猪・鹿肉処理施設運営管理事業	関連事業	猪、鹿食肉処理施設を運営	猪、鹿食肉処理施設の運営を行った（処理頭数685頭）。
	新規就農者育成事業	関連事業	新規就農する者を支援	新規就農希望者に対し、就農初期の農業用機械や施設等整備に係る経費を支援した。
産学連携推進事業	関連事業	大学と連携し事業者からの個別相談によるコーディネートを実施	大学と市民や市内事業所を結び付けるコーディネートを行った。	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：京丹後市

住民協働事業	元気な農村地域づくりイベント補助金	交付対象事業	農村地域の活性化・魅力発信・地産地消を促進するための農業イベントを支援	農業イベントを通して、市内外の消費者に対し京丹後産農作物と農業・農村の活力をPRする取組を支援した。	
	地域農業振興事業補助金	交付対象事業	認定農業者・集落営農組合等に対して機械・施設等の導入、永年性作物の振興を支援	営農規模の拡大や省力化による生産コスト削減に取り組む認定農業者及び集落営農組織等に対して、必要な機械、施設等の導入を支援した。	
	京丹後米ブランド化推進事業	交付対象事業	特別栽培米の団地化促進及び特A米産地づくりの定着推進	特別栽培米の団地化助成により、同一の作付方法での集団化が促進され、特別栽培米の質の向上及び規模拡大に繋がった。	
	海業推進事業	交付対象事業	地元水産物の普及拡大を支援	水産関連イベントを通して、地元水産物のPRを行うとともに、漁業者等のカキ小屋設備等整備を支援した。	
	地域産業総合振興・織物指導・地域活性化事業補助金	交付対象事業	織物指導、織機調整事業への支援及び地域産業活性化のためのイベントを支援	京丹後市商工会が実施する小規模事業者のニーズに対応した経営相談等の支援事業、地域活性化事業等に対し支援した（織物指導等件数2,283件）。	
	商工業支援事業補助金	交付対象事業	商工業者の新たな取り組みや創業等を支援	市民等が行う創業や空き店舗の利用、新商品開発や販路開拓に関する取組を支援した（24件）。	
	和装産地振興事業	交付対象事業	丹後織物の魅力発信、織物関連産業の振興を推進するイベントを支援	京丹後市きもの交流会や京丹後ちりめん祭りの開催等を通じて、丹後ちりめんや着物のPRが図られた。	
	社会的居場所づくり事業	交付対象事業	就労困難者、経済的困窮者、生活保護受給者等の就労支援	引きこもりの方の生活リズムの改善や仲間づくり等の社会的なつながりを回復するための支援を行った。	
	移住促進事業	交付対象事業	移住支援策を実施	空き家の改修工事等に対し支援した（7件）。	
	障害者施設製品販売支援事業	関連事業	障害者施設製品の常設販売店の運営支援	障害者施設製品の常設販売店「クリエイトショップくりくり」の運営を支援した。	
	有害鳥獣対策事業	関連事業	有害鳥獣の捕獲等の対策を実施	広域捕獲事業、緊急捕獲対策事業及びシカ捕獲強化事業等を行った。	
	織物業生産基盤支援事業補助金	関連事業	織物業の事業継承、新たな取組を支援	織物業の生産設備導入、更新、改良に対して支援した。	
成果指標①	成果指標の目標数値	従業員数 H24 22,013人 → H29 22,270人		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	22,544人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	U・Iターン等の就職促進・人材確保や雇用促進の取り組みを積極的に進める中、目標数値を達成できたため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	年平均地元有効求人倍率 H26 0.98倍 → H29 1.2倍		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	1.37倍
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	市内における事業所の新設及び増設を促進するとともに、雇用の拡大・安定化に寄与することができたため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：京丹後市

成果指標 ③	成果指標の目標数値	新規就農者数 H26 15人 → H29 33人		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	31人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	新規就農希望者が就農予定地域での実践的な研修を行い、地域との関係を築きながら農業技術等の習得に取り組むなどの支援を行ったため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標 ④	成果指標の目標数値	担い手育成（認定農家・農業法人） H26 166経営体 → H29 170経営体		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	173経営体
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	新規就農希望者が就農予定地域での実践的な研修を行い、地域との関係を築きながら農業技術等の習得に取り組むなどの支援を行ったため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標 ⑤	成果指標の目標数値	特別栽培米栽培面積 H26 462ha → H29 510ha		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	476ha
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	特別栽培米の団地化促進の取り組みにより、同一の作付方法での集団化が促進され規模拡大に繋がったため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標 ⑥	成果指標の目標数値	転入世帯 H27 10増 → H29 16増		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	22増
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	U・Iターンや移住支援などの取り組みを進める中、目標数値を達成できたため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	低迷する地域経済を支援するため、テレワークなどの企業立地、商工業者の新たな取り組みへの支援や労働者や求職者の職業能力の向上などにより雇用確保・就労支援を図り、基幹産業である織物業では、新シルク産業創造、産学連携事業等を行った。また、農業では、新規就農者への支援、米のブランド化、魅力発信・地産地産のための農業イベントを開催するなど、地域産業・経済の活性化に繋がった。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：京丹後市

本プロジェクトに対する自己評価	府と市町村等との連携に資する成果	府と京丹後市で創設した「丹後農業実践型学舎」の運営、府補助金を活用した技術習得から就農までを一貫して支援する実践的な研修の場の整備及び就農初期の所得確保支援等の新規就農者の育成支援を行うとともに、農作物の新商品開発等を支援（農村6次産業推進事業）し、農家等の所得向上を推進した。
	住民の自治意識を高める成果	特別栽培米の団地化促進、特A米産地づくり定着推進、農業イベントを支援することにより、農村地域の魅力発信・地産地消の意識高揚に繋がった。
	リーディング・モデル成果	農林水産業の所得向上、雇用創出等を確保するために、新商品の研究・開発、農林水産業と商工観光業の連携や6次産業化を推進した。
	その他の成果	国の実証事業により当市に進出するテレワークにより業務を行う企業を支援、新シルク産業の創造による新たな雇用確保を行った。また、市内事業者が行う創業・空き店舗の活用・新商品の開発等に対して支援を行い、市内商工業の振興及び自立化促進を行った。